

辺野古土砂北九州

発行…2024年8月号・No.53

《辺野古土砂ストップ北九州》

第10回定期総会



ご案内

- 2024年8月24日(土)14時～
- 北九州生涯学習総合センター31 学習室
- 《1部》ミニ学習:驚くべき九州各県と北九州の現状
- 《2部》総会

《目次》

- 【小倉南区】区民の祭りを自衛隊駐屯地で開催!?(植山渚)……………2ページ
- 【総会】第10回定期総会《議案》……………4ページ
- 【連続エッセイ】「方法としての希望」とジュゴン(浦島悦子)……………13ページ
- 【インフォメーション】……………14ページ



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

「まつりみなみ」が 自衛隊駐屯地内で開催される!?

新日本婦人の会小倉南支部 植山 渚



抗議文を読み上げる植山渚さん

■そんな馬鹿な!?

「まつりみなみ」は例年、小倉南区の町内自治会や子ども会・老人クラブ・小中学校PTA 連合会など多くの住民関係団体によって開催されてきた。今年は区制 50 周年を迎える。

町内会役員をしている知人から「どうも今年は変だ」と聞いたのは5月も終わり頃。本人もよくは知らないで、今度の総会で詳しく聞いてみるという。

「開催地が手狭だから志井公園はやめて、どうも北方の自衛隊駐屯地になった」と聞いたのが6月の始め。

「何で?!」「そんな馬鹿な?!」と誰もが半信半疑。ちょうどこの頃、北九州空港の軍事基地化に反対する市内の

各平和団体の運動が起こっていたので、誰かが反対の声をあげるだろうから、それに参加しようと思っていた。

■思いがけず多くの参加者が

新婦人小倉南支部で、とにかくこのまま黙っているわけにはいかないから、何がどうなっているのかだけでも聞きに行こう、と決定。「まつりみなみ実行委員会」の事務局が置いてあるという小倉南区役所コミュニティ支援課に行った。担当者留守で、改めて6月13日に説明を聞く、という事になったが、この時点で開催地は北方にある自衛隊小倉駐屯地に決定していることが判明した。

これは重大な事だと思い、みんなで反対しようとあちこちに訴えた。人権連北九州市協はいち早く反対の申し入れを「まつりみなみ実行委員会」会長宛に送付。13日の「経緯説明」には思いがけず各団体から二十数人の参加があった。

この時説明があったのは、会場へのアクセスや花火の件、コロナ禍明け以来の各費用の高騰などで、もう志井公園では無理となり、市内各場所を当たったが、最終的に北方駐屯地で、「実行委」が2月に決定。正式発表は5月に広報ホームページ、市政だよりには6月号、という事だった。

新婦人小倉南支部は文書で実行委員長宛に反対の申し入れを行った。

■実は「共催」だったことが判明

7月10日、新婦人小倉北支部から「まつりみなみ」と「自衛隊就職説明会」がドッキングしたチラシが入っています、という知らせがあり、「やっぱり」という思いで小倉南区役所の担当者に再度説明を求めることになった。

この抗議の席上、今度のまつりみなみは実は自衛隊と「共催」であることが判明。これまで私たちは単に「場所」を借りただけとっていたのが、もっと深刻な事態だったのだ。このビラについては区役所の担当者も知らなかったようで、自衛隊とまつり実行委の主催者間の取り決め違反している、と頭を振っていた。

まつりは8月31日。今後も追及の手を緩めてはならない。(うえやまなぎさ)



6月13日の「経過説明」を聞きに集まった、新婦人小倉南支部と各団体のみなさん

《まつりみなみ》とは

北九州市には現在7つの区があります。1974(S49)年に、小倉南区の誕生と同時に生まれたのが、「小倉南民踊の夕べ」。そして、小倉南区制25周年(1999年・H11年)を機に「まつりみなみ」になったそうです。2000人規模で踊る総踊りや打ち上げ花火など、住民の一大イベントとなっています。

自衛隊が私たちの暮らしに入り込んでくる

県外の話ですが、「学校での自衛隊による救命救急講習」や「遠足で生徒が駐屯地を訪問。隊員が作ったカレーが子どもたちに振る舞われ、その様子を自衛隊がホームページに掲載」で、保護者が驚いたという新聞記事が、過去にありました。併せて、「住民や子どもたちが楽しむイベント、教育の現場に、武器を扱う組織が登場するべきでない」とのコメントも。

*

北九州市は国からの通知等を受け、2022年度(R4年度)から、自衛官の募集対象者情報(その年度に18歳になる男子の「氏名」と「住所」)を、宛名シールで、自衛隊に提供しています。

辺野古土砂ストップ北九州

第10回定期総会《議案》

【沖縄県に代わって、国が工事承認を大執行】 辺野古新基地建設をめぐるこの1年の情勢

軟弱地盤改良工事設計変更の不承認をつらぬく玉城デニー知事に代わって承認する「代執行」に向けて、斉藤鉄夫国土交通相は2023年10月5日、福岡高裁那覇支部に提訴しました。裁判所は、代執行の要件に該当するかどうかの実質的審理をすることなく即日結審。12月20日、高裁判決は国の主張を認め、知事に対し変更申請を承認するよう命じるものでした。玉城知事は「判決に問題」と承認拒否を表明。斉藤鉄夫国土交通相は28日、国が自治体の権限を奪う代執行という前例のないことを行い、沖縄防衛局の設計変更を承認しました。

12月27日、沖縄県は大浦湾側の設計変更を承認するよう命じられた判決を不服として最高裁へ上告しましたが、最高裁は、今年2月29日、県の上告を受理しないと決定し、県に通知しました。このことは問答無用の切り捨てで、司法の役割を放棄したものの言わざるを得ません。

【大浦湾側の工事を強行】

2024年1月、防衛局は当初の着工予定の12日を前倒しし、10日から大浦湾に海上ヤード(ケーソン置き場)の基礎捨石投入を始めました。埋立承認の際の留意事項に違反して、県との事前協議なしの工事強行です。8月1日以降大浦湾側に新たな護岸を作るため、7月8日から護岸の造成に必要なくいを試し打ちを始めました。

※ケーソン…護岸用に作られた巨大な鉄筋コンクリート製の箱

【困難な軟弱地盤改良工事】

大浦湾側には軟弱地盤が広がっています。その最深部は海面下90メートルです。海底地盤を強化するための砂くいをこの深さに打ち込める作業船はどこにもありません。これほどの深度での地盤改良工事は世界でも例がありません。韓国での世界最深70メートルの海底工事では、砂で固めた地盤の中から泥が噴き出したり、作業船が事故を起こしたりで大変だったということです。また、在沖米軍幹部は「(滑走路が)沈むような場所では(建設は)難しい」とのべています。

【奄美大島からの土砂投入計画】

防衛省は、「遺骨が交じった土砂を使うな」との批判を回避するため、大浦湾側の埋め

立てに鹿児島県奄美大島の土砂を投入することを検討しています（遺骨の眠る沖縄島南部の土砂投入をあきらめた訳ではありません）。沖縄県には「埋立用材に係る外来生物の侵入防止に関する条例」があり、県外からの土砂搬入は外来生物対策を記載した届出を90日前に提出せねばなりません。問題があれば県は搬入停止勧告を出せますが、強制力がありません。埋立承認の際の留意事項さえ遵守しない防衛局が勧告に従うとも思えません。提出90日後には搬入されてしまいます。防衛局は、来年初めにも搬入を始めるよう画策しています。

【県議選、デニー知事与党過半数維持できず】

6月16日に投開票された沖縄県議選は、野党・中立が28議席となり、玉城デニー知事の与党は20議席と残念な結果となりました。辺野古新基地問題については、いまだ県民の多くが反対し、県政野党でも公明党沖縄県本部は反対していますが、これから玉城知事は困難な県政運営を強いられそうです。

【ジュゴン、サンゴの現状について】

一昨年、辺野古新基地の埋め立てをしているすぐそばの久志(くし)で、ジュゴンの糞が発見されています。辺野古・大浦湾は、ジュゴンの餌となる藻場が、沖縄島周辺で最大の規模で広がっている場所です。新基地建設を中止すれば、ジュゴンは戻って来ることでしょう。余談ですが、宮古諸島の伊良部島でも、ジュゴンが生息している可能性が高いことが、確認されています。

防衛局は、5月24日から埋め立て予定区域のサンゴ約8万4千群体の移植を始めました。2018年に移植した希少な「オキナワハマサンゴ」9群のうち、5年8ヶ月後に生存していたのは2群体だけです。移植後の生存率は極めて低いのです。しかも、移植が完了する前に工事を始めたため、くい打ち試験に使用する作業船のアンカーチェーンがサンゴに接触、大型サンゴ類1群体が損傷したことが明らかになりました。また、汚濁防止策が機能していないため、くい打ち試験の作業箇所から白い濁り水が広がっています。

世界で最も重要な海域に“保護の網”をかけることを目的とする「ホープ・スポット(希望の海)」に認定されている、生物の多様性豊かな大浦湾が破壊され始めているのです。

【埋め立て土砂搬出抗議行動現場の安和で、死亡事故】

6月28日、安和棧橋出口で、ダンプが警備員と抗議行動の女性に接触し、警備員は死亡、女性は両足骨盤骨折という痛ましい事故がおこりました。

事故の法的責任はダンプの運転手ということになりますが、その背景には、埋め立て

工事のメイン企業が大成建設から大林組にかわり、1台ずつ出発していたものが2台連続して出発するようになったり、出口から国道へ出る判断を運転手がすべきところ、国道際に立つ警備員が判断するという、危険な誘導方法に変わっていたということがありました。

【裁判所が辺野古住民に原告適格の判決】

5月15日、4人の住民が、辺野古の埋め立てを認めた国土交通相裁決の取り消しを求めた抗告訴訟の控訴審判決で、福岡高裁那覇支部は、原告適格を認めなかった一審那覇地裁判決を取り消し、著しい被害を受ける可能性があるとして、審理を地裁に差し戻しました。辺野古新基地を巡る訴訟で住民側の勝訴は初めてです。国側が上告したため、原告適格について最高裁の判断が問われることになりました。

《2》この1年を振り返って

■活動報告

- 8月11日(水)…会報No.43 発送作業 5名
- 8月19日(土)、20日(日)…平和のための戦争展 スタッフ延べ13名
- 8月26日(土)…第9回定期総会(北九州生涯学習総合センター)
出席13名、議決書75名
- 8月30日(水)…第1回世話人会 5名
- 9月 6日(水)…三上智恵講演会チラシ配布準備 6名
- 9月 9日(土)…天久学習会(テキスト「日米安保体制史」) zoom 6名
- 9月13日(水)…会報No.44 発送作業 7名
- 9月22日(金)…小倉駅街頭宣伝 8名
- 9月27日(水)…第2回世話人会 6名
- 8月～10月……三上智恵講演会チラシ配布
- 10月 4日(水)…会報No.45 発送作業 7名
- 10月25日(水)…第3回世話人会 7名
- 10月28日(土)…小倉駅街頭宣伝 5名
- 11月 4日(土)…三上智恵監督講演会 213名
- 11月 8日(水)…会報No.46 発送作業 7名
- 11月25日(土)…小倉駅街頭宣伝 4名
- 11月29日(水)…第4回世話人会 3名



昨年11月に開催した、三上智恵監督(右)の講演会での質問タイムの様子。左は顧問の天久泰弁護士。

- 1 2月 6日(水)…会報No.47 発送作業 6名
- 1 2月 9日(土)…天久学習会 zoom 5名
- 1 2月14日(木)…築城基地フィールドワーク 8名
- 1 2月25日(水)…第5回世話人会 6名
- 1月10日(水)…会報No.48 発送作業 6名
- 1月27日(土)…小倉駅街頭宣伝 8名
- 1月31日(水)…第6回世話人会 6名
- 2月24日(土)…小倉駅街頭宣伝 9名
- 2月28日(水)…第7回世話人会 6名
- 3月 6日(水)…会報No.49 発送作業 7名
- 3月22日(金)…小倉駅街頭宣伝 13名
- 4月 3日(水)…会報No.50 発送作業 7名
- 4月 3日(水)…第8回世話人会 6名
- 4月 4日(木)…坂本菜の花さんへのカンパ送金 6万円
- 4月15日(月)…北九州空港「特定利用空港」指定承諾撤回の申し入れ行動
(34団体参加) 4名
- 4月20日(土)…「土地利用規制法」の学習と富野弾薬庫入口見学 9名
- 4月21日(日)…「知り・つながり・とめる 戦争への道! 4.21集会」(愛媛)1名
北九州からの報告:「北部九州の進む軍拡」
- 4月24日(水)…第9回世話人会 6名
- 4月27日(土)…小倉駅街頭宣伝 10名
- 5月 1日(日)…メーデー参加 4名
- 5月 8日(水)…会報No.51 発送作業 7名
- 5月25日(土)～27日(月)土砂全協第11回総会(沖縄県うるま市) 2名
北九州からの報告:「長崎・佐賀・福岡の変貌とたたかひの宝物」
- 5月29日(水)…北九州空港・博多港「特定利用指定」に対する九州防衛局への申し入れ (36団体) 6名
- 6月 1日(土)…小倉駅街頭宣伝 9名
- 6月 5日(水)…会報No.52 発送作業 8名
- 6月 5日(水)…第10回世話人会 6名
- 6月 9日(日)…北九州母親大会 運動交流で報告:「北九州空港が軍事施設に」 5名
- 6月26日(水)…第11回世話人会 6名
- 6月29日(土)…小倉駅街頭宣伝 8名
- 7月17日(水)…第10回定期総会議案検討 zoom 4名
- 7月26日(金)…「会費入金状況資料」確認作業 zoom 2名



小倉駅前宣伝には、いろいろな方の参加があります。この日は合唱団の方が歌ってくれました。



西日本各地から集まった愛媛での学習会

7月27日(土)…小倉駅街頭宣伝 7名

7月31日(水)…第12回世話人会 6名

※DVD「沖縄、再び戦場へ」上映会…当会の呼びかけに応え、自主上映した団体・個人

高退協北九西(7月27日)、福教組直轄退職協(8月23日)、福教組遠中退職協(8月25日)、部落解放同盟中間市協(9月16日)、全教北九教組(9月17日)、福教組遠中支部(9月27日)、高退協直轄(10月4日)、古賀市の個人宅(10月中に5回)

■この1年を振り返って ※太字は活動方針です

【1】土砂全協の方針に基づいた活動を取り組むとともに、情報発信や学習等を取り組めます。

- 毎年8月に開催される「平和のための戦争展」に参加し、沖縄島や南西諸島で進む戦争準備を写真の展示で知らせる取り組みをしました。
- 「伝えきれない沖縄 平和への思い」と題した三上智恵監督の講演会を企画。チラシ合計4万枚以上を配布するなど、当会としても力を入れて取り組んだ結果、213名の参加を得ました。
- 築城基地のフィールドワークでは、現地で抗議行動をしている方々との交流ができました。また「土地利用規制法」の学習会と富野弾薬庫入口の見学にも取り組みました。
- 沖縄・西日本で進む戦争態勢を止めるためのネットワークが作られ始め、当会も参加しています。
- 辺野古に関する裁判敗訴について、玉城知事を支えるための応援メッセージを送付しました。
- 毎月末に小倉駅前街頭宣伝を実施しました。ここ半年ほど参加者が増えています。以前からの参加者は交代でマイクを持ち、平和への思いを訴えました。
- 当会顧問である天久泰弁護士を講師に、連続学習会として、第1弾「日米地位協定」(山本章子著)、第2弾「日米合同委員会の研究」(吉田敏浩著)、第3弾「日米安保体制史」(吉次公介著)を学びました。コロナ流行前は対面で、途中からはzoomにて取り組んできましたが、2020年6月からスタートした学習会は、2023年12月に完結することができました。
- 辺野古現地での闘いを支援するため、世話人が数回現地での抗議行動に参加し、現状を安和・塩川行動の報告という形で会報に掲載しました。

【2】自治体・議員への働きかけを行います。

○4月1日に北九州空港が「特定利用空港」に指定されたことに対し、当会として北九州市に質問状を出すとともに、他団体と連携し、北九州市や九州防衛局に対し、指定撤回の申し入れを国に行うよう、要請を行いました。

【3】しっかりした会の組織と財政を築きます。

○会報はほぼ毎月発行し、年間で10回発行しました。

○様々な活動を通して7名の方が入会しました。また、今年4月の会報に「会費長期未納者の方への入金のお願い」を同封し、期限までに入金なかった個人37名、団体3団体を退会扱いとしました。そのほか高齢化に伴う退会などもあり、昨年度の退会者は個人50名、団体4団体で、現在の会員数は個人215名、団体20団体となっています。



左は(仮称)佐賀駐屯地、右は沖縄県塩川での、基地をつくらせないたたかいの様子。北九州からも支援に。



北九州空港の「特定利用空港」の指定問題で、九州防衛局に要請と抗議をする各団体の代表者ら。博多港も「特定利用港湾」に指定されているので、福岡市の団体の参加もありました。



この横断幕を写真に撮って行かれる方が、毎回数人おられます

毎月の小倉駅前での街頭宣伝と、学習会のあと富野弾薬庫のゲート前で


≪ 3 ≫ 決算報告・監査報告

辺野古土砂ストップ北九州

第 9 期決算書(2023 年 6 月 1 日～2024 年 5 月 31 日) (参考)

	費目	金額(円)	主な内容	前年度金額
収入	団体会員	81,000	3,000 円×27=81,000 円	60,000
	個人会員	266,000	1,000 円×266=266,000 円	252,000
	カンパ	131,323	個人 48 件 街宣 25,123 円	115,574
	活動収入費	452,133	「沖縄、再び戦場へ」上映会カンパ 121,033 円 三上智恵講演会参加費 207,000 円 ガザカンパ 53,600 円 菜の花カンパ 60,000 円	164,924
	その他収入金	0		0
	前年度繰越金	222,829		232,119
	合計	1,153,285		824,617
支出	活動支出費	563,875	沖縄記録映画作成を応援する会 121,033 円 三上智恵講演会経費 257,564 円 ユニセフへ 53,600 円 坂本菜の花さんへ 60,000 円	201,064
	会報発行費	342,120	会報発送費 10 回分	349,348
	会議費	1,400	世話人会冷房費(7 月～9 月)	560
	事務費	8,863	振込取扱票印字サービス料 3,220 円×2	2,896
	総会費	35,640	議案書郵送費 34,520 円	47,920
	その他支出金	1,107	備品費購入(収納バスケット)	0
	次年度繰越金	200,280		222,829
	合計	1,153,285		824,617


2024年6月21日 以上のとおり報告します。

財政担当 大野保徳 

領収書(控)、振替受払通知票、入出金伝票(領収書添付)、
出納帳、通帳を確言認しては、適切に処理されています。

2024年7月20日

会計監査

後藤 尚子 

《4》新年度の活動方針

- ・土砂全協の仲間とともに、辺野古新基地建設ストップの運動をすすめよう。
- ・他地域とともに「特定利用空港・港湾」の撤回運動を取り組もう。
- ・地域の軍事化に反対する各地の団体とつながり、学び、行動しよう。
- ・毎月の小倉駅前宣伝を取り組もう。
- ・講演会・学習会・上映会(映画・DVD)を取り組もう。
- ・情報提供の場である「会報」の定期発行を目指そう。
- ・各種の取り組みを通じて、会員を増やそう。
- ・年度内の会費納入を働きかけよう(会計年度のメは毎年5月31日です)。

《5》新役員体制

○共同代表…小田恭司(年金者組合北九州市協議会・再)

南川健一(門司区9条の会・再)

三輪幸子(新日本婦人の会福岡県本部・再)

※以上、あいうえお順

○事務局長…八記久美子(個人会員・再)

○事務局次長…藤堂均(個人会員・再)

○財政係…大野保徳(個人会員・再)

○世話人…松本秀樹(個人会員・再、土砂全協役員兼務)

宗吉信(個人会員・再)



築城基地の見学も

*

○顧問…天久泰(弁護士・個人会員・再)

○会計監査…後藤尚子(個人会員・再)



北九州空港が「特定利用空港」に指定されたことで、北九州市に「国」に、白紙撤回を求めるよう「要請」している各団体の代表者たち。

お・ね・が・い

■会員のみなさんへのご案内

この会報(議案書)には、「議決書の葉書」・「会費入金状況のご案内」・「振込用紙」を同封しています。ご確認ください。



■議決書の葉書は、切手を貼って8月16日(金)までに、投函してください。

総会に参加できない方は、議決書を出して下さい。今、郵便物が届くのに日数がかかります。また、総会の前日までに集約をしなければなりません。すみませんが、8月16日(金)までの投函をよろしく願います。

■メールアドレスお知らせのお願い

当会では、メールでの会報送信やお知らせ等もしています。メールアドレスを登録されていない方・アドレスが変更になった方は、「議決書の葉書」に、アドレスをご記入いただくと助かります。

■「会費入金状況のお知らせ」について

会費入金状況のお知らせは、今年の7月20日現在で作成しています。それ以降入金していただいた会費は、来年度の記載となりますので、ご了承下さい。なお、領収書は、現金でいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。振り込みで、領収書が必要な方は、大野まで(裏面に電話番号記載)ご一報ください。

浦島悦子の連続エッセイ 《南の島から》 No.53

「方法としての希望」とジュゴン

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



国の「代執行」による大浦湾側工事の強行、米兵による16歳未満の少女への性暴力事件、それが日本政府によって半年間も隠蔽されていたこと、辺野古埋立土砂を搬出するダンプによる安和栈橋での死傷事故……。気の滅入る、「まーからわじーが!?(どこから怒ればいいのか!?)」と叫びたくなる状況の中で、久しぶりに嬉しいことがあった。

7月13~15日、名護市にある名桜大学で、「脱植民地化の未来…環境破壊、貧困、憎悪、差別、暴力の時代を希望の時代に変える」と題する国際セミナーが開かれた。前日12日のエクスカージョンの一環として、私は、世界4大陸各地から集まったその参加者(研究者やアーティスト)たち25人を、大浦湾を臨む瀬嵩の浜に案内し、辺野古新基地建設について話すことができた(彼らはゲート前座り込みへの参加も希望していたが、時間の関係で実現できなかった)。そして、さらに嬉しいことには、なんと、私の絵本『ジュゴンの帰る海』をイギリス・リーズ大学のアンドレア・ボッカルディさんという研究者が論文の中で取り上げているので、ぜひセミナーを聞きに来て欲しいというオファーがあったのだ!!

セミナーのメイン言語は英語で(沖縄での開催とあって沖縄社会の様々な問題やアイヌについての報告もあった)、英語力の乏しい私には難解だったが、日本語も堪能なアンドレアさん(30代?)の報告は英語・日本語併記だったのでホッとした。

沖縄の歴史や文化、辺野古新基地建設問題にも言及しながらの報告は、読み込みと洞察の深さに感動した。その結論はこうだ。—「マカト(人間)とジュゴン(非人間)との出会いは多くの可能性を開き、その出会いが何かを変えることができるという希望へと変化しています。…『方法としての希望』と定義する、この未来志向のアプローチは、権威によって引き起こされる環境的及び社会政治的破壊に対抗する新しいパターンと戦略を生み出すために介入できます」。

「方法としての希望」と呟いてみる。絶望しそうなことの多い沖縄の、日本の、世界の現状の中で、「希望」を方法として選ぶことが今こそ必要なのかもしれない。アンドレアさん、ありがとう!!

そんな中、ヘリ基地反対協・海上チームが、工事現場近くの海底でジュゴンの食み跡らしいものを発見したというビッグ

三上智恵監督作品

北方シネマ《戦雲》上映会ご案内

いくさふむ

■2024年10月11日(金)…北九州市立大学 A101
 17時00分～17時50分…三上智恵監督・山里節子さん、来場講演
 18時00分～20時30分…映画「戦雲」上映
 北方シネマ参加費…予約1,000円(当日1,200円)
 シニア・障害者1,000円、高校・大学500円、中学生以下無料

■翌日2024年10月12日(土)…大學堂門司画廊MoGA

11時00分～12時00分…「三上さん山里さんと語る会」

※こちらは映画予約をされた方限定で会費は無料

※当日はお二人への支援のカンパと大學堂でのワンドリンクをお願いします

昨年、スピノフ上映会で見ていただいたものが作品として完成し、今年3月から各地の映画館で上映。現在はさまざまなお所自主上映されています。



山里節子さん



三上智恵監督

お二人も
お話しします

お問い合わせは…宗吉まで
(090-8418-0472)

～知り つながり とめる～ 大軍拡と基地強化にNO! 西日本交流集会

■大軍拡と基地強化にNO! 西日本交流会

日時…9月21日(土)13:30～16:30・呉にて

報告①呉で進む基地強化、②映像で見る西日本を中止に進む基地強化、③うるまを中心にした沖縄での動き、④オスプレイとヘリの拠点化される佐賀、⑤ミサイル特科団配備と日出生台演習場 など

■呉フィールドワーク(要予約)

日時…9月22日(日)9:30～11:30

歴史の見える丘、潜水隊前、日鉄跡地

■戦争止めよう西日本連帯交流会

日時…9月22日(日)13:00～16:30

会場…呉

報告…広島・沖縄・鹿児島・京都・大分・高松・愛媛、意見交換も

※大雑把な紹介です。興味のある方は八記までお問合せください。
080-1730-8895

※沖縄・奄美から始まった「対中戦争態勢」の構築は、いま、西日本へと拡大されています。しかし、軍事拠点として強化・拡大されていく各地の状況はその地域内でしか報道されず、それぞれ個別の闘いを強いられています。いまこそ、つながり合って、全体の状況を共有し、連帯して闘って、この戦争準備を止めて行きましょう…という趣旨の集まりです。

沖縄から
西浦昭英さんが
やって来る

辺野古土砂ストップ北九州:主催

《講演会ご案内》

沖縄の基地問題と 非暴力の抵抗運動

■日時… 9月22日(日)

15時~17時 ←

■場所…北九州生涯学習センター
21 学習室 (小倉北署横)

■参加費…500 円

前号では16
時開始でご
案内してい
ましたが、
15 時開始
です。

【プロフィール】

講師の西浦昭英さんは、35 年間務めた東京のキリスト教系高校の教員を早期退職し、沖縄に移住して、辺野古新基地建設の反対運動や、平和ガイドとして活動しておられます。

また、辺野古への土砂を船で運び出している安和栈橋で、今年6月、ダンプが警備員と抗議行動の女性に接触し、警備員は死亡、女性は両足骨盤骨折という痛ましい事故がおこりました。この場所は、西浦さんの活動場所の一つでもあります。

西浦さんには、さまざまな沖縄の基地問題と、沖縄のみなさんが一貫して大切にしてこられた非暴力の抵抗運動について、お話していただきます。 《沖縄伝道所会員》



西浦昭英さん

お問い合わせは…宗吉(090-8418-0472)まで

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 8月07日(水)…《会報(総会議案)発送》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 8月24日(土)…《辺野古土砂ストップ北九州・第10回定期総会》14時～16時
生涯学習総合センター・31学習室
- 8月28日(水)…《第1回世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 8月31日(土)～9月1日(日)…《平和のための戦争展》黒崎コムシティ 10時～
- 9月04日(水)…《会報発送》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 9月22日(日)…《西浦昭英講演会》15時～ 生涯学習総合センター・21学習室
- 9月25日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・A会議室(婦人会館)
- 9月28日(土)…《小倉駅前街頭宣伝》16時～



「辺野古土砂ストップ北九州」入会のご案内

ご希望の方は下段の連絡先までご一報をください。会報をお送りします。
年会費は個人 1000 円・団体 3000 円です。

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古土砂ストップ北九州」

【お問い合わせ】 大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。

退会希望の方も、大野まで

※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。申し訳ありませんが、
よろしく願いいたします。



《辺野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…hts@mtc.biglobe.ne.jp

〒800-0117 福岡県北九州市門司区大字恒見 122-3 藤堂方

藤堂 090-6299-2608・南川 090-2853-7116・八記 080-1730-8895